



## 講師インタビュー：子どもたちの未来を創るパートナー①

今回は、3月15日（金）10～12時に開催予定の「『夫婦会議®』研修体験説明会」で講師を務めて頂きます。Logista 株式会社 共同代表 CEO の長廣 百合子さんと、同じく共同代表 COO の長廣 遥さんにインタビューをさせて頂きました。

1. 現在のお仕事や活動について教えてください。いただければと思います。

長廣 遥さん：  
子育て支援会社として、主に結婚・妊娠・産後・育児期の夫婦の「対話」のサポートを通じた社会課題の解決に努めています。

2015年に夫婦の対話メソッド『夫婦会議®』を開発し、専用のツールの他、講演・研修などの形で個人・企業・自治体の皆さま向けに提供しています。

仲津：  
弊社でも二人講師で研修・講演を行うのは以前にやっていたことがございますが、さらに二人が夫婦というのははじめてのケースです。

長廣 百合子さん：  
私たち自身 2 児の父・母。夫婦でキャリアを考え、対話することを大切にしてきた結果、家庭運営も会社経営も、本当に何もかも夫婦で一緒に行うようになりました。お互いの強み・弱みをさらけ出し、補い合いながら家事・育児・仕事をしているわけですが、世の中としても「夫婦でキャリアを考える気運」が高まっているように感じます。

長廣 遥さん：  
講演や講座については、よくクライアント様から、「男性と女性の両方の目線からのお話を聞けるのがすごくいい。夫婦のリアルな話が参加者に役立つ」と言われます。実際に、私たちの産後の危機や 2 人目育児での育休体験談や、ワークの内容が受講者の皆さんにも好評で。感想を拝見する限り、本音が出しやすくなり、次のアクションにも繋がりがやすくなっているのだと思います。

長廣 百合子さん：  
自然な形で「自己開示」を促すことで「行動変容」が期待できます。ちなみにこれは、夫婦間の協力体制づくりにも通じることなんですよ（笑）（次頁に続く）

Next Seminar

3 / 15 FRI



Mar, 15, 2024

3/15 『夫婦会議®』研修体験説明会

この説明会では、従業員の家庭環境を支援し、仕事と生活のバランスを改善するための「夫婦会議®」プログラムの導入についてご紹介します。従業員が夫婦間でキャリアや家庭生活について対話を深めることが、企業の生産性向上にも繋がることをご理解いただける内容となっております。

詳細 : <https://qr.paps.jp/P4Zq>




あらためてインタビューをさせて、いろいろとお話が聞けてよかったです。長時間にわたるインタビューの中で見えてきた二人の想い、その辺が記事の中でも伝わると思います。

2.『夫婦会議<sup>®</sup>』を開発したきっかけを教えてくださいいただけますでしょうか？

長廣 百合子さん：  
私たち自身が、第一子誕生後に「産後の危機」を迎えたことが一番大きなきっかけになったと思います。

産前産後のタイミングを中心に、仕事と家庭の「両立の危機」や、産後うつ・虐待などの「命の危機」、産後クライシス・離婚などの「家庭崩壊の危機」など、子育て期は夫婦間でさまざまな危機が生じがち。

その根底に、「夫婦でキャリアを考え、対話する機会」が不足しているという問題があることがわかりました。

子どもたちによりよい家庭環境をつくり出し、いける夫婦であるためにも、もっと夫婦は積極的に話し合う必要があるのです。

長廣 遥さん：  
夫婦の問題を解決することは、子育ての問題を解決することにつながっていると思います。

社会の最小単位は、家庭であり、その家庭を担っている核は夫婦です。子どもたちが最初に触れる社会でもある「家庭」を、夫婦でどう築いていくのか？この問いを「個人の問題」として突き放さずに、まず私たちが一緒に向き合いたいと思っています。

長廣 百合子さん：  
起業当初は、こうした考えに共感頂ける「自治体」の方とのお仕事が多かったのですが、ここ数年は「企業」の方からのオーダーも増えました。

背景には、子どもたちが「未来のお客様や社員になる可能性を秘めている」というお考えもあるのかもしれませんが、夫婦間の問題が「自助努力」に委ねられがちだった中、その流れが大きく変わりつつあることを実感しています。

長廣 遥さん：  
子育て夫婦に対する支援の輪が広がることは、さまざまな意義があります。DE&Iの推進や男性育休支援などはもちろん、この先も企業が存続していくためには「未来を担う人づくり」という観点での社員のサポート強化が不可欠です。

長廣 百合子さん：  
働きやすい環境を作ることは、自治体や企業が頑張るだけではだめで、各家庭の中で「努力の方向性」を間違わないようにしないとといけません。

夫婦を起点に、働き方も暮らし方も話し合い、一緒にキャリアを作っていく。まず夫婦間でそういう共同体を作っていくようになると、子育て期の働きやすさは向上します。

仲津：  
『夫婦会議<sup>®</sup>』のもとになったメモというか、ノートのようなものはあるのでしょうか？

長廣 遥さん：  
いいご質問ありがとうございます。実は、離婚の危機に陥る2～3ヶ月前に二人でお互いにノートを作っていました。

長廣 百合子さん：  
お互いに考えていることを整理してアウトプットすることは大事だと思います。何に悩んでいるのか、つまっているのかが書くことでわかるようになると思います。

それが世帯経営ノートの土台になっています。

長廣 遥さん：  
当時年間 100 万人のご夫婦が誕生する中で、全員が『夫婦会議<sup>®</sup>』のセミナーや研修を受講することはできない。そして具体的な行動変容に落とし込むまでのプロセスが形になっているものが世帯経営ノートであつたりもします。

(次号に続く)



#### 【コラム執筆】

人と人、人とコトの仲をつなぐ

仲津定宏

長廣様のご夫婦を見ていると、危機を乗り越え、未来を共有した夫婦の絆の強さを感じています。

危機を乗り越えた先に、子供たちにとっても、自分たちにとっても明るい未来がまっているようにも思いました。

## 研修実施報告

### MBTI を活用したコミュニケーション研修実施報告

先日とある企業の社員様向けに MBTI を活用したコミュニケーション研修をオンラインで実施させて頂きました。

受講者様は全員地方からの参加で、講師は都内からの配信でした。

ZOOM を使い、ブレイクアウトルームを多用しながら通常よりも短い時間ながらなんとか研修を行うことができました。

MBTI の基本的な概念や考え、タイプによる違いは理解して頂くことができたのではないかと思います。受講者からは職場の上司や同僚にも受講者して欲しいとの声をたくさん頂きました。